

第31回 成田ケーブルテレビ杯争奪 四十雀サッカー大会 (1/3)

■期日:平成26年9月21日(日) ■会場:中台運動公園 陸上競技場、球技場
 ■主催:成田市体育協会 ■主管:成田市サッカー協会・5種部会
 ■後援:成田ケーブルテレビ(株) ■協賛:千葉ガス(株) (株)レオパレス21 ■事務局:酒々井FC

【大会概要】初回大会から使っていた三里塚グラウンドに別れを告げ、中台運動総合公園に舞台を移し開催の運びとなりました。これにより市協会5種の2大会である秋の同大会、春のNFA四十雀サッカー大会(旧ロータリークラブ杯)とも中台の良質なグラウンド環境でプレイができるようになりました。

大会開催に際し小泉市長からの激励の言葉もあり、新生四十雀大会の栄冠争奪戦を、壮年とは思えないハツラツとしたプレイで繰り広げた結果、エンジョイの部はKFC(初優勝)、チャレンジの部は栄レインボーが、それぞれ大会を制しました。大会事務局の酒々井FCの皆さん、ご苦労様でした。



■開会式、大会スポンサー 成田ケーブルTV、深堀社長の挨拶



■深堀氏(成田ケーブルTV) ■成田市長からも選手に激励 ■時沢選手(NKエミ)の選手宣誓 ■松岡氏の開会宣言



■左からレオパレス21本田氏、成田ケーブルテレビ深堀社長、伊藤会長、小泉市長、門馬体育協会会長、宇都宮市議、早乙女理事長)



■NSSSの宮本選手のFK(チャレンジ・三里塚戦) ■日吉台ロッソ対NSSSマドリード戦 ■LEGAME佐倉対栄RFC戦での攻防



■ゴールを目指して ■エンジョイ決勝戦(Nエミ対KFC) ■エミ(金沢氏)からかき氷の差入れが好評

第31回 成田ケーブルテレビ杯争奪 四十雀サッカー大会(2/3)

(エンジョイの部 試合結果)

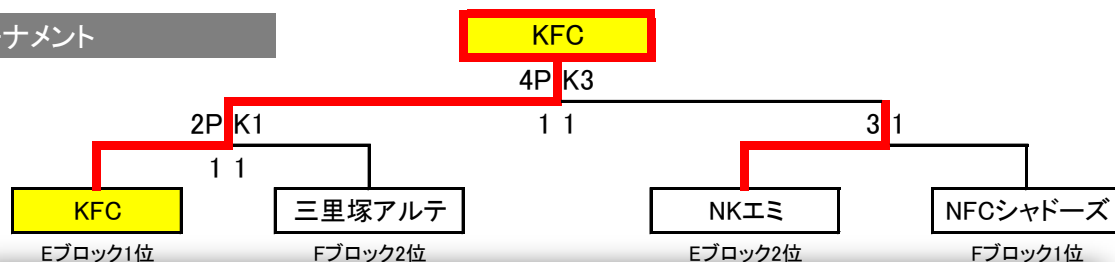
■エンジョイの部決勝は、同じEブロック1位(KFC)と、2位(NKエミ)のリベンジマッチとなりました。NKエミは予選リーグでKFCに1-5と大敗しており、俄然劣勢が予想される中、昨年度大会優勝チームの意地で、PK戦までもちこみました。PK戦ではKFCが、決勝ラウンド1戦目もPK戦で突き放した余裕もあり、落ち着いて決めて初優勝を飾りました。

エンジョイの部 試合結果

勝ち点 : ○ = 3 △ = 1 ● = 0

Eブロック	栄&酒々井	KFC	NKエミ		勝ち点	得点	失点	得失点	順位
栄&酒々井	*	0 ● 4	1 ● 3		0	1	7	-6	3
KFC	4 ○ 0	*	5 ○ 1		6	9	1	8	1
NKエミ	3 ○ 1	1 ● 5	*		3	4	6	-2	2
Fブロック	NFCシャドーズ	日吉台ビアンゴ	三里塚アルテ		勝ち点	得点	失点	得失点	順位
NFCシャドーズ	*	1 △ 1	2 ○ 1		4	3	2	1	1
日吉台ビアンゴ	1 △ 1	*	0 ● 1		1	1	2	-1	3
三里塚アルテ	1 ● 2	1 ○ 0	*		3	2	2	0	2

決勝トーナメント



エンジョイの部を初制覇したKFC、決勝トーナメントは2試合ともPK戦、接戦に強かった。



第31回 成田ケーブルテレビ杯争奪 四十雀サッカー大会(3/3)

(チャレンジの部 試合結果)

■チャレンジの部は、四十雀リーグ常勝のLEGAME佐倉か、昨大会優勝の三里塚プラーヴィかと予想されました。結果は、栄RFCが決勝T1回戦で昨大会の覇者・三里塚プラーヴィを3-1で快勝し、決勝でも守備力磐石なLEGAME佐倉から4点も奪いあっさり優勝。4試合で得点17点も大会屈指なら失点も4試合で僅か1点と、完璧な試合運びでした。

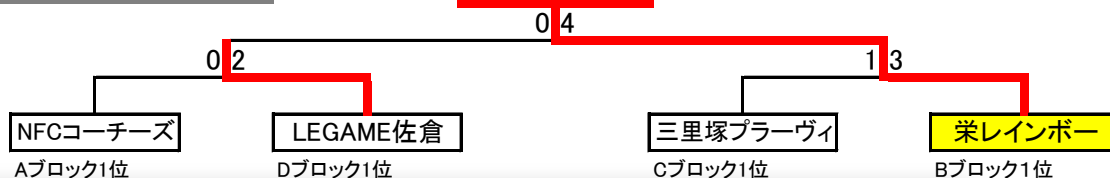
チャレンジの部 試合結果

勝ち点 : ○ = 3 △ = 1 ● = 0

Aブロック	NFCコーチーズ	公津FC	NKアーセナル		勝ち点	得点	失点	得失点	順位
NFCコーチーズ	*	3 ○ 1	2 ○ 1		6	5	2	3	1
公津FC	1 ● 3	*	2 ○ 1		3	3	4	-1	2
NKアーセナル	1 ● 2	1 ● 2	*		0	2	4	-2	3
Bブロック	CPFC	栄レインボー	NSSユナイテッド		勝ち点	得点	失点	得失点	順位
CPFC	*	0 ● 3	3 ○ 0		3	3	3	0	2
栄レインボー	3 ○ 0	*	7 ○ 0		6	10	0	10	1
NSSユナイテッド	0 ● 3	0 ● 7	*		0	0	10	-10	3
Cブロック	NSSマドリード	三里塚プラーヴィ	日吉台ロッソネーロ		勝ち点	得点	失点	得失点	順位
NSSマドリード	*	0 △ 0	0 △ 0		2	0	0	0	2
三里塚プラーヴィ	0 △ 0	*	2 ○ 0		4	2	0	2	1
日吉台ロッソネーロ	0 △ 0	0 ● 2	*		1	0	2	-2	3
Dブロック	LEGAME佐倉	酒々井ナトゥレーザ	七栄FC		勝ち点	得点	失点	得失点	順位
LEGAME佐倉	*	3 ○ 2	3 ○ 1		6	6	3	3	1
酒々井ナトゥレーザ	2 ● 3	*	2 ○ 0		3	4	3	1	2
七栄FC	1 ● 3	0 ● 2	*		0	1	5	-4	3

決勝トーナメント

栄レインボー



チャレンジ部門で久しぶりの優勝を飾った栄レインボー、4試合で総得点17点は大会屈指



■先制点の飯嶋選手

相手GKが良かったので先制点は必須と思い、(相手)DFの隙を狙っていた。いいパスが来たので、必ず決めるつもりでいった。(先制点が)決められて波に乗れた。優勝に貢献できて嬉しい。



■先制点アシストの知念選手(栄レインボー)

(相手)DF陣も前かかっていたので、貯めて(飯嶋選手に)決めてくれと気持ちを込めてパスを出した。

